

男女共同参画コラム

システムの中の育休

田村 光平

学際科学フロンティア研究所 助教



今年の3月に第一子を授かり、産前に有給を、産後に育休を頂いた。私が所属する学際科学フロンティア研究所では、はじめての男性の育休取得者だったとのことである。個人的な、しかも一度だけの経験でなにがわかったのか自分でも自信はないが、考えたことを少しでも書いてみたい。

実は、育休中でも仕事はふつてくる。たとえば日本学術振興会関連の業務などがそうであった。断っておきたいが、悪意によってそうなっているわけではない。事務職員さんは、報告書の提出を育休明けにしてくれるよう戦ってくれた。単にシステムとして、育休というものが想定されていないだけだと思われる。しかし、育休中にやらなかった仕事は、そのまま消えてなくなるわけではなく、後回しにされるだけである。要は締め切りの延長である。結果、育休明けは忙しい。

育児支援としての効果を求めるのであれば、育休終了後も、一定期間業務負担を減らす仕組みが必要だろう。ピンポイントの支援は効果がうすいことを、昨今の文教行政に苦しむ大学教員なら体感していることと思う。もちろんこの問題を考えるうえで、大学を取り巻く苦しい状況と、若手の業績評価の問題を避けて通れない。また、育児期間中の男性の業務負担が減ることは、間接的にパートナーの負担軽減にもつながるだろう。

大学は人類知の先駆けを謳うが、それを学知だけに限らなければならないという法はない。間接的な波及効果を同定し、構造上の問題を解決することは学知の領分とも重なる。生き方——もっとやわらかいことばを使えば、「くらし」だろうか——においても、大学が社会を先導する存在になることを望む。

東北大学サイエンス・エンジェル  
—女性研究者支援モデル育成—



「男女共同参画推進のための行動指針」にある「次世代育成」に基づき、自然科学系女子大学院生を対象とした東北大学サイエンス・エンジェル(SA)制度を設けています。SAは次世代のロールモデルとして、小中高生や保護者・教師、特に理系進学に興味を持つ女子中高生に対して、体験型イベントやオープンキャンパス、出張セミナー等を通じて科学の魅力と研究のおもしろさを伝える活動をしています。2019年度は60名のSAが任命され、6月1日(土)にオリエンテーションが行われました。その後、マサチューセッツ工科大学の学生とのコラボレーションで開催した科学体験プログラムを皮切りに、学都「仙台・宮城」サイエンス・デイ2019、東北大学オープンキャンパス、楽しい理科のはなし2019に出展し、今後も活発な活動を予定しています。

TUMUG スケジュール

10月 October

09 水 第2回ネクストステップ研究費締切  
対象/女性教員  
(准教授、講師、助教、助手)

12 土・日 13 日 <東北大学附属研究所等一般公開>  
片平まつり2019 特別企画  
「サイエンス・エンジェルと  
作って学ぼう!身近な科学」  
会場/エクステンション棟1階ロビー  
(片平キャンパス)  
対象/小学生以下

ワーク  
ショップ シュワシュワ  
バスボムをつくらう!  
サイエンス・エンジェルと一緒に、  
身近なものを使って、科学のふしぎ  
を体験できるものを作ってみよう!  
開催時間/10:00~、11:30~、  
13:00~、14:30~  
(各回24名定員・30分)  
※ 開始前に整理券を配布いたします。

体験ブース(常時) 10:00~12:00、  
13:00~15:30

31 木 第2回スキルアップセミナー  
「プレゼンを制する者が研究を  
制す!プレゼンする際に役立つ  
デザインの基本」  
会場/金属材料研究所2号館1階講堂  
(片平キャンパス)  
開催時間/13:00~14:30  
講師/佐藤 暁子先生  
(女子美術大学 特任准教授)  
対象/学生・大学院生、研究者等

12月 December

15 日 「東北電力×SAコラボ  
公開ワークショップ」  
会場/サイエンスキャンパスホール  
(青葉山キャンパス)

21 土 第16回東北大学  
男女共同参画シンポジウム  
「共感の技術」  
会場/さくらホール(片平キャンパス)  
開催時間/10:00~13:00  
対象/どなたでもご参加いただけます  
◆入場無料・無料託児所あり

25 水 第3四半期ベビーシッター  
利用料等補助締切  
対象/育児を行う教員、技術職員、  
ポスドク、学振特別研究員、  
博士学生等(男女)

※詳細はTUMUG Webをご覧ください。



TUMUG

Oct. 2019  
Vol. 15

「TUMUG」とは、「Tohoku University(東北大学)」「Movement(運動、活動)」「United(回結、協力)」「Gender(ジェンダー、男女)」からなる頭字語(アクリロニム)。東北大学が「紡ぐ」男女共同参画の取組が、ムーブメントとして広がっていくことを目指しています。



梅津理恵准教授(金属材料研究所)が猿橋賞を受賞

梅津准教授は、ホイスラー合金の良質な単結晶を作製し、大型放射光施設「スプリング8」にて電子状態観測実験を行いました。そして、ハーフメタルの特徴を捉えることに成功し、このことが評価され猿橋賞受賞につながりました。

Headline News

梅津理恵准教授が第39回猿橋賞を受賞しました。

3人の子どもを育てながら研究を続け、ハーフメタルの分析に成功。



梅津理恵准教授。周りのサポートに支えられ子育てと研究の両立をされています。

梅津理恵准教授(金属材料研究所)は、「ハーフメタルをはじめとするホイスラー型機能性磁気材料の物性研究」というテーマで第39回猿橋賞を受賞し、5月25日に開催された授賞式にて賞状を授与されました。猿橋賞は1980年に創設され、自然科学分野において顕著な研究業績を収めた毎年1名の女性科学者に、「女性科学者に明るい未来をの会」から贈呈されます。



▲梅津理恵准教授が授与された第39回猿橋賞 賞状

子育てと研究を両立する梅津准教授は、夫や義母の協力や、上司の励ましの言葉に支えられ、研究生活を続けてきました。平成29年度の第1回東北大学優秀女性研究者賞「紫千代萩賞」の理学・工学分野の受賞者であり、次世代向けセミナーの講師や、ニュースレターへのコラムご寄稿など、当センターの活動にもご助力いただいております。

各記事の詳細および当センターの活動予定は、TUMUG WebやSNSをご覧ください。



東北大学男女共同参画推進センター

Tohoku University Center for Gender Equality Promotion

TEL. 022-217-6092

所在地 〒980-8577 宮城県仙台市青葉区片平2-1-1  
Mail office@tumug.tohoku.ac.jp  
WEB http://tumug.tohoku.ac.jp/



## 2019年度前期イベント開催報告



### 2019年度第1回 沢柳フェローランチミーティング開催

日時:7月4日(木)12:00~13:30 会場:エクステンション教育研究棟1階ホール(片平キャンパス)  
対象:本学女性研究者(教授、准教授、助教、助手、ポスドク(教育研究支援者など) その他教職員および大学院生



今回の沢柳フェローランチミーティングでは、青木孝文理事・副学長(企画戦略総括、プロボスト)と下間康行理事(人事労務・環境安全・施設)をお招きし、女性研究者に向けたメッセージを頂きました。関係者含め48名の方々にご参加いただき、和やかな雰囲気の中、理事や副学長と女性研究者との意見交換が行われました。



### マサチューセッツ工科大学(MIT)の学生と東北大学サイエンス・エンジェルによる科学体験プログラム

マサチューセッツ工科大学(MIT)の学生10名と東北大学サイエンス・エンジェル(SA)14名による科学体験プログラムを開催しました。当センターの瀬戸文美特任助教の司会進行のもと、マサチューセッツ工科大学 MISTI/MIT Japan Program Manager クリスティーン・ピルカページ氏より開会挨拶をいただきました。コンピュータアルゴリズムに関するアクティビティを子供達と行い、その後、MIT学生より英語でのアルゴリズム説明が行われました。フリーディスカッションでは、日本語と英語を交えて楽しく交流を深めました。



### UCLのDr. Kelsey PaskeおよびDr. Kevin Coutinho センター訪問



英国のユニバーシティ・カレッジ・ロンドン(UCL)の学長・プロボスト室のEquality, Diversity & Inclusion Teamより、Dr. Kelsey PaskeとDr. Kevin Coutinhoが当センターを訪問し、本学の研究者7名に対し共同参画に関する意識調査を行いました。

日時:7月16日(火)~7月18日(木)  
会場:男女共同参画推進センター(片平キャンパス)

### 東北大学とお茶の水女子大学が包括連携協定を締結



AI・数理・データリテラシー教育、グローバル女性リーダー育成、ダイバーシティの推進等を目的に、協力体制を構築します。両大学には、日本の女性科学者の草分けとされる黒田チカ博士が、お茶の水女子大学の前身である東京女子高等師範学校を卒業後、東北大学の前身である東北帝国大学へ進み理学博士を取得し、その後、東京女子高等師範学校に戻り、教授として教鞭をとったという縁があります。

日時:7月19日(金)13:30~14:30  
会場:東北大学東京分室

河北新報、東京新聞ほか各紙にて報道



### 第16回東北大学男女共同参画シンポジウム「共感の技術」

日時:12月21日(土)10:00~13:00/13:15~ 意見交換会(昼食会)  
会場:さくらホール(片平キャンパス) 対象:どなたでもご参加いただけます

入場無料 無料託児所あり

本シンポジウムでは、ロジカルな理解と感覚的な想像からなる「共感力」にフォーカスをあて、ドライな関係性である職場であっても、共感しやすいシステムを作れる可能性を模索していきます。「共感力」を感覚や感情だけではなく、論理的思考を伴う「技術」として捉え、共感力の技術を養う機会とすることを目指します。ぜひご参加ください。



10:00 開会挨拶...大野 英男(総長)  
来賓挨拶...平川 新氏(宮城学院女子大学学長)

10:10 第1部:沢柳記念賞授賞式・受賞講演

A賞:沢柳政太郎記念東北大学男女共同参画賞

課題名 女性研究者の活躍促進と、大学のシステム改革の推進

受賞者 相田 美砂子氏(広島大学 理事・副学長)

B賞:沢柳政太郎記念東北大学男女共同参画奨励賞

課題名 埼玉大学におけるダイバーシティ環境整備としての「みんなのトイレ」プロジェクト

受賞者 埼玉大学みんなのトイレプロジェクト

沢柳政太郎記念東北大学男女共同参画賞(通称:沢柳記念賞):平成26年に創立。男女共同参画をめざす活発な取組の一助となるよう、アカデミアにおける男女共同参画の先駆として各分野で活躍し、多大な貢献をされた方々を選考し顕彰するものです。

10:55 第2部:特別講演

「森トラストの人材育成について  
~男女ともに働きやすい社会の創造を目指して~」

講演者:伊達 美和子氏  
(森トラスト株式会社 代表取締役社長)



11:40 第3部:シンポジウム「共感の技術」



左より:梅田 恵氏(EY Japan株式会社 D&I アソシエイトディレクター)  
直江 清隆(東北大学文学部 教授)  
倉片 三千代(東北大学病院 産婦人科医)  
コーディネーター:山内 正憲  
(医学系研究科教授 麻酔科学・周術期医学分野、男女共同参画委員会委員)

申込方法

◆事前登録制【11月29日(金)締切】

参加を希望される方は、右記QRコードより参加登録を行ってください。  
男女共同参画委員会のホームページからもリンクしております。

当日参加も受け付けております。

○無料託児所あり(託児対象/生後5ヶ月~就学前) ※事前登録の際にお申込みください。



応募登録フォーム



男女共同参画委員会  
ホームページ

お問い合わせ先

東北大学総務企画部総務課 佐々木  
☎ 022-217-4811  
✉ danjyo@grp.tohoku.ac.jp  
🌐 http://www.bureau.tohoku.ac.jp/danjyo/index3.html



### 第3回女性研究者シンポジウム ~女性研究者が拓く有機化学の未来~

日時:12月7日(土)13:30~15:30  
会場:薬学研究科・大講義室 主催:薬学研究科

講演者:古田 未有氏(東北大学大学院薬学研究科)  
稲垣 昭子氏(首都大学東京大学院理学研究科)  
高橋 秀依氏(東京理科大学薬学部)

お問い合わせ先

東北大学大学院薬学研究科 女性機能有機分子創生チームORCHID 有澤美枝子  
☎ 022-795-6814  
✉ mieko.arisawa.d2@tohoku.ac.jp

## 開催報告



第1回スキルアップセミナー

「プレゼンを美しく魅せる 科学を分かりやすく伝えるためのビジュアル作成講座」

今回はサイエンスアートや科学情報の可視化に取り組まれている佐藤暁子先生に、ご自身の取組や研究の概要を、イラストを用いて伝える「グラフィカルアブストラクト」をプレゼンテーションに活かすポイントについてご講演いただき、Adobe Illustratorを用いた作画実習を行っていただきました。



日時:6月14日(金)13:00~15:30  
会場:南総合研究棟2(材料・物性総合研究棟1)大会議室(片平キャンパス)



### 2019年度 東北大学女性教員採用促進事業 採択結果

1-1 部局と全学の連携による女性教員採用促進策 部局公募型  
生命科学研究科(申請3件のうち1件採択)

2 ポストアップによる女性上位職移行策  
通年募集です

### 日本工学教育協会 第67回年次大会

本大会では、田中真美総長特別補佐、男女共同参画推進センター副センター長(医工学研究科/工学研究科)が東北大学における男女共同参画について基調講演を行いました。同セッションでは、ALicEの渡邊智子特任助教から東北大学工学系における女性研究者育成支援についての発表と、当センターの瀬戸文美特任助教からサイエンス・エンジェル活動についての発表がありました。



日時:9月5日(木)13:00~15:30  
会場:講義棟C棟3階C302講義室(川内北キャンパス)